

本庁舎のあゆみ

年代	できごと	当時の様子
江戸時代	1600年 伊達政宗、千代を仙台と改め居城とする	
明治時代	1885年 初代本庁舎 完成	明治11(1878)年の郡区町村編制法施行によって発足した「仙台区」の区役所として完成。11年後の市制施行によって仙台市に引き継がれ、そのまま市役所として使用されることになりました。建物は和洋折衷の木造平屋造り。 
	1889年 市制施行、仙台市誕生(人口:86,352人)	
昭和	1929年 第二代本庁舎 完成	第二代本庁舎はルネサンス式鉄筋コンクリートの3階建てで、近代都市・仙台のシンボルになっていました。中央の高塔上部にはサイレンが設置され、正午を知らせる合図として使用されていました。 
	1945年 仙台空襲で市中心部全焼	
	1964年 第三代本庁舎 起工	現在も使用されている第三代本庁舎は、第二代本庁舎の北側に建設されました。地上8階、地下2階建てで、議会棟とは渡り廊下でつながっています。第二代本庁舎が解体されるまでは二つの庁舎が共立していました。 
	1965年 第三代本庁舎 完成	
	1967年 BCS賞受賞	
	1978年 宮城県沖地震	
平成	1989年 政令指定都市としてスタート(人口89.6万人) 市制100周年 '89グリーンフェアせんだい開催	◀大震災当日の様子 雪の降る中、市役所前庭には、多くの人が集まり、停電により電光時計も消灯しました。 
	1999年 人口100万人達成	
	2008年 耐震補強工事完了	
	2011年 東日本大震災	
令和	2023年 先行解体工事 着手予定	現在の庁舎敷地内での新本庁舎(第四代)の建設にあたり、敷地南側にある議会棟、低層棟、前庭(噴水広場等)を解体する「先行解体工事」を行います。 

新本庁舎概要(第四代)

新本庁舎は、地上15階、地下1階建てで、上層階から議会機能、行政機能、災害対策機能、市民利用・情報発信機能を備えます。市民や職員にとっての利便性はもちろん、周辺施設との一体性や環境負荷の低減など、さまざまな観点で検討を進めています。敷地南側への高層棟建設(第1期工事)及び敷地北側への低層棟建設(第2期工事)に分けて工事を進め、第1期工事部分は令和10年度、第2期工事部分は令和12年度の供用開始を目指しています。



仙台市役所

思い出アルバム

市役所本庁舎先行解体お別れセレモニー
—58年間ありがとう—

現本庁舎の概要

完成時期	S40年10月31日
敷地面積	14,405.20㎡
延床面積	33,342.85㎡
構造規模	SRC8F/B2F



電光時計

一番町四丁目商店街から見える位置に設置されている電光時計です。庁舎が建築された昭和40年より、仙台の街とともに時を刻んできました。



議場

議会棟は、第三代本庁舎とともにつくられました。議場では、市政の重要課題について様々な議論が交わされてきました。



社団法人 建築業協会
「建築業協会賞作品集」第8回 P96

中庭



社団法人 建築業協会
「建築業協会賞作品集」第8回 P99

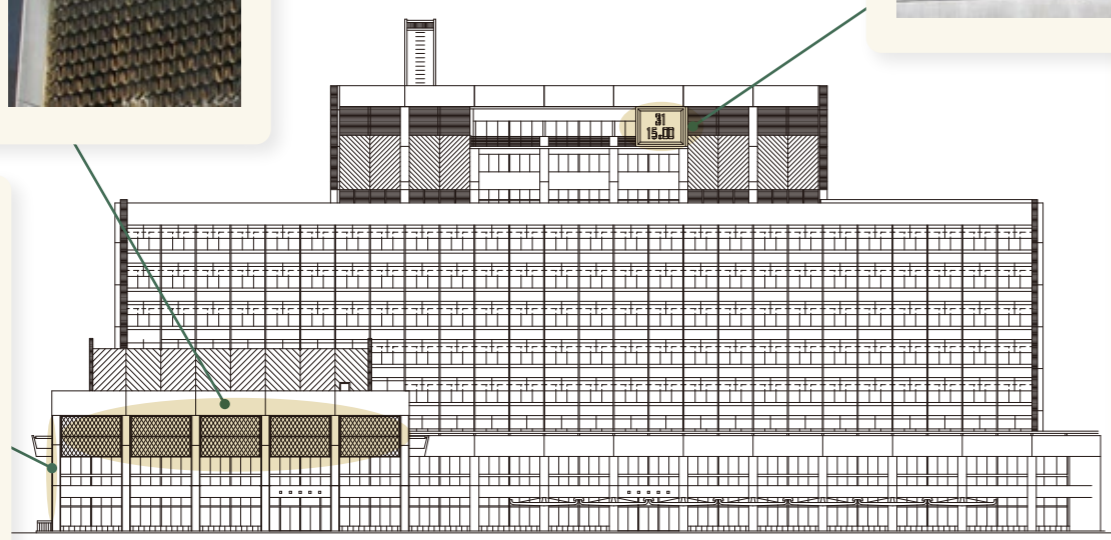
外装レリーフ

議会棟の窓の外側には木漏れ日を意識したレリーフが取り付けられています。議会棟の顔としての奥行きのあるデザインとなっています。



外壁タイル

「杜の都」を効果的に表現することを意図した外壁となっており、深みがでるよう、緑色があえて一様に仕上がらない「窯変磁器タイル」を使用しています。



前庭エリア

前庭エリア

噴水

昭和42年1月に株式会社河北新報社から、河北新報創刊70年を記念して仙台市民あてに寄贈されたものです。設置されて以降、イベントなどで広く市民の皆様が親しまれてきたほか、夏場には子ども連れのご家族が楽しむ様子など、市民の憩いの空間として親しまれてきました。



モチノキ

平成11年に本市の人口100万人突破を記念して、「百万都市」達成セレモニーを開催し、モチノキを2本植樹しました。



白萩

伊達政宗公にゆかりがあると言われており、東京都あきる野市の大悲願寺から株分けされたもので、平成26年9月に仙台市公園愛護協会連合会より、仙台市公園愛護協会の設立50周年を記念して寄贈されたものです。植樹後は同連合会宮城野支部において維持管理を頂いています。



リバサイドの友好の鐘

本市で1番目に古い国際姉妹都市であるリバサイド市より、姉妹都市提携10年の記念として、昭和42年12月に友好の鐘が寄贈されました。鐘には、レインクロスがデザインされており、リバサイド市の市章としても使用されています。

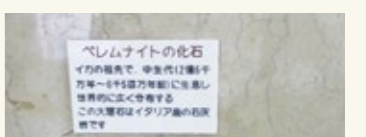
大理石と二枚貝の化石

玄関ホールの壁には、赤褐色の大理石(イタリア産の石灰岩)が使用されています。その大理石には、二枚貝の化石が見られます。



大理石とペレムナイトの化石

1階ホールには、白色の大理石(イタリア産の石灰岩)が使用されています。その大理石には、ペレムナイト(イカの祖先で、中生代に生息したものの)の化石が見られます。



玄関ロビー



建設当時の正面玄関には玄関前の小部屋である風除室がありませんでした。また、現在とは異なり、玄関ロビーの中に受付窓口が設置されていました。



正面玄関



市民のへや



建設当初より作られた「市民のへや」は、市民の憩いの場所として、多くの方にご利用いただきました。